

# わらの里通信

第4号

元号が変わり、新時代の到来がしみじみと実感されるこの頃ですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。甚大な被害をもたらす自然の猛威や、頻発するテロ事件、目を覆いたくなるような痛ましいニュースにさらされながらも、八街わらの里は毎日の安全を願い、利用者様の健康を守りながら日々の支援に取り組んでおります。わらの里通信は今号も心を込めて情報をお届けします。

## 軽スポーツ大会

5月8日(水)、施設内レクリエーションである軽スポーツ大会を行いました。毎年、2チームや4チームで競い合う軽スポーツ大会ですが、今回は赤、青、ピンクの3チームで競い合うかたちになりました。競技内容は午前の部に「絵合わせゲーム」、午後の部に「おしり歩き競争」を行いました。

まずは「絵合わせゲーム」から。2枚ひと組となった様々な絵柄のカードを裏にして並び、2枚ずつ裏返して、同じ絵柄が出たらゲ

社会福祉法人 泰斗会  
八街わらの里  
八街市八街は 3-235  
Tel 043-441-1100  
Fax 043-441-1101  
令和元年 7月発行

えてくる頃には、カードをめぐる自分の組の利用者をそれとなく職員が誘導し始め、それに対し敵組からブーイングが起きる、という熱い闘いに発展していきました。

午後からは「おしり歩き競争」です。床に座り、手と足を使わず、おしりだけで歩くという、おしりたんでも真つ青な過酷なレース。そしてレース終盤、車椅子の須郷さんが「オレもやる」と言いだし、急遽「車椅子レース」の展開に。同じく車椅子の高橋寿さん、千葉命さんが加わり、スタート！その結果は・・・思いもよらない展開になりましたが、それはまたの機会にお話しするとして、大会は無事に閉幕しました。

ツトできるという、神経衰弱ゲームです。このゲームを行うと、どうか職員が熱くなる傾向があり、今回もゲームが進み、だいたいどこにどのカードがあるかを覚



勝ったのはどっちだ!?

## アートフレンズ展

5月21日(火)から26日(日)まで、千葉市美術館9階市民ギャラリーにて開催された「第20回アートフレンズ展」に、今年も八街わらの里として作品を出展し、オープニングセレモニーに利用者様と出席して参りました。



制作者の宮脇綾香さん(左)とともに

今年は、宮脇綾香さんの手によって作られた、色彩豊かなステンドグラス風の作品「家紋曼荼羅」を展示させていただきました。今年で2回目の出展になりますが、利用者様たちとギャラリーを見学し、飾られている作品を観ていきますと、去年に比べてもクオリティの高い作品が多いことに驚きました。

宮脇綾香さんの作品は、今回展示させていただいたものと、新たに制作したものを合わ

せ、8月31日(土)に八街市中央公民館で行われる「やちまたふくしフェスタ」にも展示する予定です。興味のある方は是非足を運んでいただけたらと思っております。

## 女子会

5月22日(水)、前日の大雨が嘘のように晴れ渡った空のもと、女子の、女子による、女子のための女子会が華やかに行われました。今回は2コースを用意し、どちらかを選んでいただきました。ひとつは成田ゆめ牧場。山羊や羊、馬や牛などとたわむれ、中でもモルモットは小さくて可愛いと、大人気でした。皆でなでたり、眺めたり、えさをあげたりと憩いのひとときを過ごしました。



可愛らしさに顔がほころびます

もうひとつはカラオケBanBanでのカラオケ大会。カラオケは施設内の活動でも行っています。やはり設備の整ったカラオケ

ルームでは、盛り上がり違います。ドリンクバーで、好きな飲み物を飲みながら、施設のカラオケ機材には未収録の最新の曲や、少しマイナーな曲、豊富なレパートリーのあるAKB48の曲などを、職員も巻き込んで歌い、踊り、とても楽しいイベントになりました。



カモンベイビーアメリカ！！

こうして、たまには男子禁制、女子だけの集まりというものも良いものです。恋バナなど、男性陣にとっては興味津々な話題に花を咲かせる場面もあったのでしょうか・・・。

### 生きることに ついて 語るときに

#### 私たちが語ること

朝、黄色いシャツを着た人が迎えに来て、私たちはバスに乗り、友だちにあいさつをする。バスから外を見ると、いろんな人たちが歩いてるのが見える。大人の人、子供たち、男の人、女の人、それにおじいちゃんやおばあちゃん。

みんなどこかへ出かけて行く。大人の人たちは会社、子供たちは学校、おじいちゃんやおばあちゃんたちは買い物か散歩・たぶん。そして私たちは不思議に思う。私たちはどこに行くのだろう。学校は卒業した。でも、今向かっているのは会社とは違うように思う。会社はお父さんが行っている。そこでお仕事をしよう。でも私たちはお仕事をしない。時々はするけど。

バスの外にいる人たちと、私たちはどこか違うのかも知れない。友だちに聞いてみただけ、だいたいみんな、うーん、と言って首を傾げるだけで答えてくれない。バスの外にいる人たちは普通で、私たちは普通じゃないのかも知れない。そんなことを昔、誰かに言われたような気がする。でも、なにが普通で、なにが普通じゃないのだろう。私たちはただ普通に生きているだけなのに。私たちの頭はこんがらがる。



私たちは、きれいなものが好きだ。雨に濡れた道路や、蜜蜂や、赤い苺が好きだ。でも、私たちが目にするのは、きれいなものだけではない。前にテレビで、青い海にたくさんさんのゴミが浮かんでいるのを見た。どうしてそんなことになるのだろう。きれいなものを大切にしないで、いったいなにを大切にしているのだろう。



再びバスの外に目をやる。世界は私たちにとつとめまじりに広がりわからなくなつたばかりだ。まるで外国の古くて大きいお城で迷子なつたみたいだ。心細くて泣きたくなるじつもある。道しるべなんかどこにもない。

それでも私たちは今日を生きていく。絵本で見た音楽隊のように、歌い、笑いながら。そのうちにはきこえるんなことがわかるようになると思う。そしてその時、バスは空を飛び私たちはより高い場所から世界を眺めることができるだろう。

## 男子会



梅雨入りし冷たい雨が続く中、前もって利用者様と一緒にてるてる坊主を作つて飾り、このイベントの日が晴れるようお願いしていましたが、まさに雨模様の間隙を縫うように青く輝く空のもと、男子会が行われました。今年の男子会は、「道の駅くりもと 紅小町の郷」に出かけました。行きの車中でもみなさんのテンションはいつになく上がり、お出かけムードが漂っております。

道の駅くりもとでは、敷地内にある芝生にブルーシートを広げ、荷を降ろし、一息つき、まずは写真撮影を行いました。近くにいた遊具で遊ぶお子さんやそのお母さんに話しかける利用者様もおり、ほのぼのと時間を過ごしました。その後はお楽しみのお食事タイムに。みなさん、前もって選んで頂いていたメニューが運ばれてくるのを待ち、いただきます。みなさん、お肉をほおばり、ご飯をかき込み、うどんをすすり、とても美味しそうです。その後は、施設内にある里山公園にて、クジャク園や錦鯉の泳ぐ池を散策し、ザリガニ釣り・ニジマス釣りなどを見学しました。クジャクも私たちの期待に応えるように、その羽を大きく開いてくれました。それからおやつタイムに、アイスクリームやジュースを頂くと、あつという間に時間が過ぎ、帰りの送迎準備へ。今日の男子会が思いに残ることを願い、安全運転で帰路につきました。



食事も終わり、ゆったりタイム



男子会と同じ、残った女子は女子で盛り上がるう！というかけ声のもと、ふたたび女子の、女子による、女子のための女子会が帰ってきました。女子と言え、やはり美味しいお菓子に目がありませんね。ということ、女子全員でホットケーキを焼くことになりました。生地を練り、ホットプレートで焼き、ホイップクリームやチョコレートでデコレーションをして、完成です。みなさん、出来映えには満足できたでしょうか。



かわいいホットケーキです

ホットケーキは、おやつ時間に、女子だけで召し上がりましたが、ちなみにここだけの話、あとでこっそりと男性職員にも分けていただき、有難く頂戴しました。大きさも焼き加減も違う、手作り感たっぷりなホットケーキはしつとりとして優しい味がしました。

それにしても、男性陣が楽しむなら、負けじと女性陣も楽しんでやる！と企画・準備し

実行する女性職員の意気込みには頭が下がると共に、八街わらの里は、こういった女性陣のアグレッシブなパワーに支えられているということを痛感した一日となりました。



7月6日(土)、七夕会を行いました。毎年、天然の笹の葉を用意し、みなさんに願い事を書いた短冊を作ってもらい、飾っています。みなさん、どんな願い事をしたのでしょうか。短冊を見ていきますと、「元気に過ごせますように」というものや、「活動を頑張る」といった日常的なお願い事の中で、最も多かったのは「AKBの握手会に行きたい」「嵐のコンサートに行きたい」「巨人の坂本に会いたい」など、憧れの芸能人に会いたいという願いでした。ぜひ叶えてもらいたいです。笹の葉は一週間ほど飾ります。この短い間で、しっかりと願い事が天に届くといいですね。



七夕に願いを込めて・・・

### ヒヤリ・ハット事例

八街わらの里では、施設内で起きた「ひやり」または「はつと」した出来事を「ヒヤリ・ハット報告書」として提出し、日々の支援の見直し、改善に役立てております。その中から近々に起きた事例をいくつか簡単に報告させていただきます。

**(事例)** 入浴時に臀部を洗う際、シャワーチェアから立ち上がった時、左足に力が入らず、膝がカクツと崩れ、倒れそうになった。

**(改善)** ふらつきが見られたら身体を支える。立ち上がりや前傾時は十分に気を付ける。

**(事例)** 利用者が玄関を開け、外へ出てスロップを降りていた。

**(改善)** 職員同士が連携し、声を掛け合い、利用者の見守りと所在の確認を徹底する。

**(事例)** 右手中指の爪が半分まで割れた状態を発見した。

**(改善)** 看護師へ報告し、確認後、爪を切り、割れた部分にやすりがけを実地。朝の身体チェック時に、手足の爪の確認を忘れずに行う。

**(事例)** 利用者の水筒に入った飲み物を他の利用者が飲もうとした。

**(改善)** 利用者の水筒などは水分補給時以外は食堂など所定の位置に戻しておく。



小さな見落としや不注意が大きな事故につながる危険性があるということを常に意識し、また研鑽を重ねていくことで、より質の高い支援を職員一同で目指して参ります。

### 「寄付のお礼」

ご家族の皆様方より、お菓子や野菜、キャップ等を頂き、心より感謝いたします。



モルモット可愛い～  
来号もお楽しみにねっ